

令和元年度 事業報告書

1. 事業の経過及びその成果
2. 主要な設備投資の状況
3. 主要な事業内容

令和2年6月5日

公益財団法人加古川総合保健センター

事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1. 事業の経過及びその成果

健康づくり支援と公衆衛生の向上を図る公益法人としての取り組みとして、地域保健医療情報事業においては、システムに蓄積されているデータ等を用いて統計・分析処理を行い、有効なデータを解りやすく発信するとともに、健康セミナー・健康関連イベント・健康づくり・健康診断など様々な健康関連情報についても、地域住民の健康づくりに活用頂けるようホームページにて情報提供を行った。

健康診断事業においては、特定健診・保健指導の即日指導を更に推進するとともに、市町が実施する各種がん検診については、公民館や福祉会館を会場とした巡回健診で特定健診とがん検診を同時に受診できる体制を整え、住民の方が居住地近辺でも受診できる機会を増やし受診者数増を図った。また、行政が行う受診勧奨のタイミングにあわせ、受診枠の十分な確保を行うとともに、予約電話対応スタッフを増やし、スムーズな受入れを図った。事業所健診では、診察医師2名を配置することで受入れ枠を増やし、オンラインシステムを有効活用して健診の流れをスムーズにし、定期健診や協会けんぽ健診の受診者数増を図った。人間ドックでは、受診枠（胃内視鏡検査枠を含む）を増やすとともに、健診当日の特定保健指導の実施で受診者数増を図った。学校健診では、新規高等学校との契約があったが、児童生徒数の減少により昨年度を下回った。

臨床検査事業においては、受託医療機関数の変動はほぼないが、外注検査の風疹抗体検査等の増加により昨年度より検体数増となった。また、健診事業の検体数についても、定期健診等の増加、子宮がん検診の増加による細胞診検査の増加により、事業全体としては昨年度より検体数増となった。

介護保険事業においては、要介護認定調査で、当初計画数以上の調査を受託し目標を達成することが出来た。

また、健康イベントとして、令和元年11月30日（土）に「市民公開講座」、令和2年2月9日（日）に「第5回ウエルネージかこがわ健康フェア」を開催し、多くの地域住民に参加いただいた。行政主催の健康関連イベントにも積極的に参加し、簡易検診等を通じて地域住民に健診の受診啓発活動を行った。

I.公益目的事業	予算額(円)	決算額(円)	達成率(%)
地域保健医療情報に関する事業	99,514,000	99,517,000	100.0
健康診断等に関する事業	1,144,950,000	1,103,811,444	96.4
臨床検査等の検査に関する事業	566,667,000	612,236,151	108.0
II.収益事業	予算額(円)	決算額(円)	達成率(%)
介護保険に関する事業	40,821,000	40,925,360	100.3
不動産貸付等事業	4,114,000	3,875,314	94.2

2. 主な設備投資等の状況

機器関係	取得額(円)	資産名称等
情報機器関係	22,697,540	システムサーバ、パソコン 等
情報ソフトウェア関係	10,639,400	新元号対応 等
健診機器関係	35,900,694	健診システムサーバ、パソコン、プリンタ、 超音波骨評価装置、眼圧計、血圧計 等
健診ソフトウェア関係	208,135,267	健診システム、新元号対応、消費税対応 等
検査機器関係	37,316,920	検査システムサーバ、OCR 機器、パソコン、 全自動液状化細胞診装置、マイクローム、遠心機 等
検査ソフトウェア関係	75,367,813	検査システム、新元号対応 等
管理機器関係	5,205,260	管理システムサーバ、パソコン 等
管理ソフトウェア関係	31,441,400	管理システム、新元号対応
建物関係	65,145,200	排水処理設備工事、雷サージ対策工事 等
車両運搬具関係	49,279,945	胸部X線デジタル検診車
合計	541,129,439	

3. 主要な事業内容

(1)公益目的事業

健康診断・臨床検査等を通じて収集・蓄積した保健医療情報について、医療・行政機関などでの共有等を可能とするため構築した「地域保健医療情報システム」を維持管理し、健康づくりを支援する事業については以下の通りである。

1) 地域保健医療情報に関する事業

対象地域：加古川市、稲美町、播磨町

対象者：地域内のシステム参画医療機関に通院されている患者、当センターの健診受診者
事業実施数（2019年4月1日～2020年3月31日）

▶システム登録者数

・同意者 新規 986名／累計 45,015名

・健診受診者 新規 3,192名／累計 114,653名

・合計 新規 4,178名／累計 159,668名

累計（H3～死亡者数 200,056名）

▶カインドカード発行枚数 新規 859枚／累計 47,439枚

▶感染症情報提供ホームページへのアクセス件数 117,770件

▶システム参画医療機関数 新規 1機関／累計 130機関

① システム運用管理事業

(ア) 新規参画医療機関の募集

令和元年度新規参画医療機関は、医師会において新規開業された医療機関への募集を行

い1機関が決定した。

(イ) システム利用促進

住民への普及定着の促進及び特定健診実施医療機関を対象に「特定健診受診者向け地域保健医療情報システム加入案内」を持参し、システム加入勧奨依頼を実施した。(5月27日～6月7日、対象機関89機関、1,760枚配布)

(ウ) 情報提供紙・医療機関案内

情報発信や情報公開のため「地域医療情報システムだより12号」を9月30日に発行した。

(エ) 参画ドクター会議の開催

システムを活用した事例発表や連携・情報交換を目的とした参画ドクター会議を令和2年2月8日に開催した。

(オ) 地域保健医療情報システムについて、5/10長泉町議会(10名)、9/3名城大(10名)の視察を受けた。

② システム事業

(ア) 1年間のシステム利用状況 システム画面利用回数 492,807回(月平均41,067回)

(イ) システムの通信基盤であるIP-MEMBERSを活用した利用環境に関して回線の変更を3機関、レセプトオンライン請求に係る電子証明書更新作業を8機関で実施した。

(ウ) 医師会糖尿病対策PJから特定健診データの統計依頼を受け情報提供を行った。

③ 各種委員会の開催

(ア) 「地域保健医療情報システム事業」の費用に関する打合せ(令和2年1月15日開催)

④ ICT利活用広域連携事業「かこがわ健康BOX」

(ア) 利用者(新規107名/累計2,728名)

(イ) ホームページによる情報発信(セミナー・イベント情報41件、健康づくり情報190件、健康診断情報等5件)

(ウ) システム登録者フォローアップ(電話47件、訪問15件、メール2件)

(エ) 9ヶ所のイベント、講演会で、125枚案内チラシを配布した。

2) 健康診断等に関する事業

① 特定健診・特定保健指導・がん検診等の実施状況

(ア) 一市二町の受診勧奨に合わせて受診枠を確保し、より多くの受診者を受け入れた。

子宮がん、乳がん検診で昨年度実績を上回ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月度の健診が中止となり、肺がん・胃がん・大腸がん検診の昨年度実績に届かなかった。

(イ) 受診機会の確保・・・稲美町・播磨町の住民の方への利便性と受診機会を確保するため、公民館等での巡回健診開催や送迎バス運行を行い、受診機会に配慮した。

(ウ) 胃内視鏡がん検診・・・予約者全員に連絡することで検診当日のキャンセルを回避し、17名の増加となった。しかし、まだ検診日直前や当日のキャンセルがあり、計画数には至っていない。

(エ) 住民対象の法定外がん検診・・・胸部CT検査、乳腺エコー検査、前立腺がん検査を継続して実施した。

健診名	R元年度 計画数	実績数	達成率 (%)	加古川市	稲美町	播磨町	国保外	昨年度 実績比
特定健診(集団)	12,000	11,443	95.4	7,345	832	1,097	2,169	83
特定健診(個別)	13,000	11,141	85.7	9,399	770	972	-	-910
肺がん検診	13,000	10,029	77.1	7,645	1,013	1,371	-	-313
胃がん検診	5,000	4,038	80.8	3,193	430	415	-	-258
胃がんリスク検査 (ABC分類)	2,000	841	42.1	623	39	179	-	-286
大腸がん検診	14,000	11,902	85.0	9,337	1,095	1,470	-	-113
子宮頸がん検診	3,000	3,445	114.8	2,871	239	335	-	457
乳がん検診	5,000	4,957	99.1	4,238	273	446	-	240
骨粗しょう症検診	5,300	4,837	91.3	3,872	379	586	-	-183
肝炎ウイルス検診	1,500	3,074	204.9	2,577	147	350	-	-119
胃内視鏡検査	600	554	92.3	483	23	48	-	17
胸部CT検査	850	675	79.4	592	31	52	-	28
乳腺エコー検査	500	228	45.6	177	11	40	-	-100
前立腺がん検査	2,200	2,135	97.0	1,724	191	220	-	103
合計	77,950	69,299	88.9	54,076	5,473	7,581	2,169	-1,354

(オ) 特定保健指導

管内国民健康保険の加入者 129 名に特定保健指導を実施した。特定健診 3 期改正に伴い、健診当日に 75 名、後日に 54 名の保健指導実施となった。

実施団体名	動機付支援	積極的支援	うち当日実施	後日実施
加古川市国保	95 名	21 名	63 名	53 名
稲美町国保	9 名	1 名	9 名	1 名
播磨町国保	1 名	2 名	3 名	0 名
合計	105 名	24 名	75 名	54 名

(カ) 糖尿病改善教室

厚労省糖尿病腎症重症化予防プログラムを受け、加古川市及び播磨町在住で糖尿病のリスクが高い方を対象に 4 クール開催し、97 名が参加した。

実施団体名	対象者	参加者	改善者/改善確認者(率)
加古川市国保	691 名	79 名	41 名/63 名(65%)
播磨町国保	173 名	18 名	8 名/17 名(47%)
合計	864 名	97 名	49 名/80 名(61%)

※健診データと教室終了時で HbA1c の値が減少したことを改善とした。

(キ) 事後指導 (簡単健康チェック)

受診者の積極的な健康づくりを支援するため、食育SATと、体力測定システムを活用した運動指導を実施。(食育SAT 72名、体力チェック 21名)

(ク) 日本乳がんピンクリボン運動ジャパンマンモサウンデー協賛

10月21日(日)に乳がん受診者の希望があり、子宮がん検診と各種がん検診、特定健診を実施し、受診率向上に努めた。

② 事業所健診の実施状況

(ア) 定期健診・・・契約解除があり134名の減少となった。

(イ) 協会けんぽ健診・・・施設内での受入れを拡張し996名の増加となった。

(ウ) ストレスチェック・・・契約解除があり1,143名減少した。

(エ) その他・・・協会けんぽ健診の受診数増加に伴い、子宮がん・乳がん・眼底検査の受診数は増加したが、バリウムによる胃がん検診は減少が続いている。

健診名	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30年度 実績数	対前年度 実績 増減数
定期健康診断	36,000	32,628	90.6	32,762	-134
協会けんぽ健診	20,000	19,194	96.0	18,198	996
特殊健診	14,400	16,422	114.2	16,493	-71
胃がん検診	13,000	11,759	90.5	12,053	-294
大腸がん検診	26,500	24,060	90.8	23,241	819
子宮がん検診	3,100	3,065	98.9	2,979	86
乳がん検診	2,800	2,646	94.5	2,536	110
腹部超音波検査	1,000	1,336	133.6	1,336	0
眼底検査	10,500	9,225	87.9	9,189	36
ストレスチェック	20,000	17,317	86.6	18,460	-1,143

③ 人間ドックの実施状況

1日人間ドックの受診数が初めて減少となった。1日ドック枠を2時間ドックと新コースに転用することで、ドック全体として106名の増加となった。

健診名	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30年度 実績数	対前年度 実績 増減数
2時間ドック	2,000	1,729	86.5	1,595	134
1日ドック	3,500	2,873	82.1	2,960	-87
新コースドック	500	361	72.2	302	59

④ 健保組合を対象とした特定保健指導

12 団体と契約し、特定保健指導を実施している。健診当日に指導を受ける割合が多くなっている一方、「昨年の指導を受けた」との理由で指導を断る割合も多くなっている。なお、今年度は、事業所を訪問して 25 名の方に保健指導を実施した。

実施団体名	動機付支援	積極的支援	うち当日実施	うち後日実施
建設国保	4 名	4 名	7 名	1 名
共済組合	14 名	12 名	21 名	5 名
組合健保	35 名	29 名	25 名	39 名
協会けんぽ	70 名	87 名	151 名	6 名
合計	123 名	132 名	204 名	51 名

⑤ 学校健診の実施状況

加古川市、稲美町、播磨町の幼稚園 29 園、小学校 38 校、中学校 17 校、高等学校 40 校、大学 2 校の計 126 校を対象に結核検診、心臓検診、腎臓検診、運動器・脊柱側弯検診を実施した。児童生徒数は減少しているが、近隣の高等学校 2 校との契約により維持に努めた。

健診名	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30 年度 実績数	対前年度実績 増減数
結核検診	8,500	7,509	88.3	8,159	-650
心臓検診	19,200	18,683	97.3	19,170	-487
腎臓検診	53,700	51,603	96.1	52,312	-709
脊柱側弯検診	6,300	6,329	100.5	6,229	100
運動器検診	6,900	6,806	98.6	6,781	25

⑥ がんの発見状況(住民健診)

(令和 2 年 5 月 1 日現在の状況)

検診名	受診数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診数	精検受診率(%)	がん発見数
胃がん検診	4,038	262	6.5	139	53.1	2
胃がんリスク検査 (ABC 分類)	841	197	23.4	93	47.2	0
肺がん検診	10,029	283	2.8	228	80.6	3
子宮がん検診	3,445	30	0.9	23	76.7	0
乳がん検診	4,957	364	7.3	326	89.6	24
大腸がん検診	11,902	743	6.2	446	60.0	21
胃内視鏡検診	554	28	5.1	13	46.4	0
胸部CT検査	675	28	4.1	25	89.3	1
乳腺エコー検査	228	26	11.4	22	84.6	0
前立腺がん検診	2,135	127	5.9	66	52.0	7

⑦ 集団健康教育、健康相談等

(ア) 集団健康教育

- ・加古川市、稲美町、播磨町の委託事業として医師講演会を9回実施した。2/27に播磨町で予定していた1回は新型コロナウイルスの影響で中止となっている。
- ・いなみ野学園大学で講演会を2回実施した。(医師：1月14日、保健師：2月17日)
- ・事業所の健康保険組合と連携し、健診後に体組成測定・血圧脈波検査・事後指導を4日実施した。

(イ) 健康相談

- ・医師、保健師、管理栄養士が対応。
- ・毎週月～土曜日に電話、来所による健康相談(143名)を実施した。

⑧ 健診、検査の精度管理

お客様から信頼される健診・検査を実施すること、また検査スタッフの責任、意欲の向上のため、下記の通り学会・研修会等へ積極的に参加した。

なお、令和元年度においては、人間ドック施設機能評価、労働衛生サービス機能評価を受審し、いずれも更新認定を受けた。

(ア) 内部精度管理(専門部会の開催状況)

専門部会名	開催日	協議事項
胃腸部会	令和元年12月	検診結果報告その他
胸部部会	令和2年2月	検診結果報告その他
子宮がん部会	令和2年2月	液状化細胞診導入その他
乳がん部会	令和2年2月	検診結果報告その他
腎臓検診部会	令和2年2月	検査項目の変更その他
心臓検診部会	令和2年2月	検査項目の変更その他
脊柱・運動器検診部会	令和元年9月	検査結果報告その他
人間ドック部会	令和2年3月	検査項目、判定基準の変更その他
住民健診部会	平成31年4月	健診結果報告その他
胃内視鏡検診運営委員会	令和元年5月 令和元年12月 令和2年3月	第1回運営委員会 研修会 第2回運営委員会

(イ) 外部精度管理

調査名	年月	評価団体	判定
腹部超音波精度管理	令和元年12月	全国労働衛生団体連合会	A
総合精度管理	令和2年2月	全国労働衛生団体連合会	A
胸部X線検査精度管理	令和元年11月	全国労働衛生団体連合会	A

(ウ) 第三者機関による認定状況 (令和2年3月31日現在)

調査名	認定日	評価団体	更新
人間ドック施設機能評価	令和2年3月	日本人間ドック学会	2回目
労働衛生サービス機能評価	令和2年6月予定	全国労働衛生団体連合会	4回目
マンモグラフィ検診施設・画像認定施設	平成29年7月	日本乳がん検診精度管理中央機構	—

(エ) 学会発表

発表学会	年月	演題	発表者
人間ドック学会	令和元年7月	ドライアイ眼レーシック眼とVDT作業者の近視視機能からがん腺疲労の検証にDEQSの有用性を検証した	平松 邦夫
人間ドック学会	令和元年7月	受診者サービス向上に向けた取り組み～誘導支援システムの活性化	榎尾 武史

(オ) 認定資格等取得状況 (令和2年3月31日現在)

資格名	資格取得者	評価団体
超音波検査士	4名	日本超音波医学会
乳がん検診超音波検査実施技師	2名	NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	4名	NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構
肺がんCT検査認定技師	1名	NPO 法人肺がんCT検診認定機構
胃がん検診専門技師	3名	NPO 法人日本消化器がん検診精度管理評価機構
THP 心理相談員	2名	中央労働災害防止協会
THP 産業保健指導者	1名	中央労働災害防止協会
人間健康情報管理指導士	7名	人間ドック学会
衛生管理者	11名	安全衛生技術試験協会

3) 臨床衛生等の検査に関する事業

① 検査事業における重点施策

(ア) 検体獲得に向けた医療機関への情報発信

- ・9月『保健センター検査課だより (第11号)』を発行。風疹抗体検査のクーポンを事業の検体獲得のための情報と口腔細胞診検査の実施状況、非アルコール性脂肪肝と非アルコール性肝炎の鑑別に使われるスコアリングシステムのFIB-4 indexの紹介をした。

(イ) 医療機関の検査、健診の検体について

- ・4月1日より、健診事業の当日保健指導対応のため、血液検体検査結果の即日報告(30分以内)を開始した。
- ・令和2年度より子宮頸がん検体の液状細胞診運用を開始するための準備を完了した。

(ウ) 検査データ WEB 配信システムについて

検査データ WEB 配信システムの利用機関は、結果参照の迅速性、電子カルテとの連携の利便性を PR することにより、2 機関の新規利用があり 68 機関となった。

(エ) 外部精度管理の結果

下記の外部精度管理に参加し、概ね良好な結果を得た。

調査名	開催日	調査対象部門	評価
日臨技精度管理調査	令和1年8月	検査全体	A 97.8%
日本医師会臨床検査精度管理調査	令和2年3月	生化学・血液学・免疫学	98.8点
兵庫県臨床検査精度管理調査	令和1年11月	検査全般	A 100%
労働衛生検査に関する精度管理調査	令和2年2月	有機溶剤・鉛	A 97.0%
全国労働衛生団体連合会精度管理調査	令和2年2月	生化学・血液学・尿一般	A 99.6%

② 検査事業による事業実施数

(ア) 医療機関の検体検査

透析検体の増加と微生物検査の血液培養の増加により、全体で 28,210 件の増となり達成率 105.1%となった。

医療機関の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	175,000	184,446	105.4%	173,657	10,789
生化学Ⅱ	8,700	9,354	107.5%	9,001	353
血液学	168,000	171,832	102.3%	166,505	5,327
免疫学	64,000	67,960	106.2%	64,101	3,859
尿・糞便	13,500	15,670	116.1%	13,845	1,825
微生物学	26,000	30,815	118.5%	25,966	4,849
細胞診	9,000	7,015	77.9%	8,864	-1,849
病理組織学	3,400	3,321	97.7%	3,166	155
アレルギー検査	4,000	3,810	95.3%	4,287	-477
特別検査	48,000	52,274	108.9%	48,589	3,685
外注検査(件数) (うち風疹抗体)	42,000	43,877 (2,305)	104.5%	44,183	-306
合計	561,600	590,374	105.1%	562,164	28,210

(イ) 健診事業の検体検査

生化学Ⅰ・血液学は、若干減少している。外注検査は、風疹抗体クーポン事業と医療機関の職員健診の抗体検査で増加している。全体では対前年度比で 25,101 件の増、達成率は 98.4%となった。

健診の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	88,930	81,402	91.5%	77,997	3,405
生化学Ⅱ	7,600	7,722	101.6%	7,083	639
血液学	89,630	81,200	90.6%	77,984	3,216
免疫学	6,650	9,536	143.4%	7,172	2,364
尿・糞便	98,500	90,952	92.3%	89,299	1,653
微生物学	410	401	97.8%	357	44
細胞診	9,720	10,806	111.2%	9,337	1,469
病理組織学	50	49	98%	59	-10
特別検査	11,000	14,740	134%	13,353	1,387
外注検査(件数) (うち風疹抗体)	20,000	30,364 (2,926)	151.8%	19,430	10,934
合計	332,490	327,172	98.4%	302,071	25,101

(ウ) その他 (事業所診療所、地域外医療機関、福祉施設等)

その他の部門別検体数実施状況

(単位：件)

部門	令和元年度 計画数	実績数	達成率(%)	H30年度 実績数	対前年度 実績増減数
生化学Ⅰ	3,900	4,362	118.5%	3,572	790
生化学Ⅱ	60	41	68.3%	54	-13
血液学	3,900	4,319	110.7%	3,868	451
免疫学	2,600	3,084	118.6%	2,695	389
尿・糞便	3,800	3,326	87.5%	3,459	-133
微生物学	350	1,439	411.1%	356	1,083
細胞診	40	114	285%	41	73
病理組織学	10	24	240%	15	9
アレルギー検査	50	34	68.0%	35	-1
特別検査	3,450	3,288	95.3%	3,735	-447
外注検査(件数) (うち風疹抗体)	1,800	925 (59)	51.4%	2,114	-1,189
合計	19,960	20,956	105.0%	19,944	1,012

(2)収益事業

1) 介護保険に関する事業

① 要介護認定調査事業

年間計画数 5,350 件に対し 5,363 件の実績であった。今後も係内研修や外部研修を行うことにより、調査員の質の向上、業務の効率化、業務改善を行う。

事業名	令和元年度 計画数	実績数	達成率 (%)	H30 年度 実績数	対前年度実績 増減数
要介護認定調査	5,350	5,363	100.2%	4,326	1,037

2) 不動産貸付等の事業について

① 不動産貸付

(ア) テナント貸付

健診受診者等来館者の利便性を配慮し 1 階テナント部分を飲食店に賃貸していたが、令和 2 年 2 月 29 日をもって契約解除。

貸付料 2,515 千円 (年額)

(イ) 駐車場賃貸

ウェルネージかこがわ立体駐車場の一部を加古川医師会等に賃貸している。

賃貸料 1,260 千円 (年額)

② 駐車場の提供

ウェルネージかこがわ立体駐車場は、業務時間内は健診受診者等の利用に充てているが、業務時間外の夜間・休日は、誰でも利用できるように配慮している。

(3)その他

1) 行政等のイベントへの保健センターブースの出店

イベント名	開催日	利用者数 (延べ人数)
はりま風薫るフェスタ(播磨町)	平成 31 年 4 月 27 日	393 人
稲美ふれあいまつり(稲美町)	令和元年 5 月 3 日	278 人
加古川俊足王決定戦(加古川市)	令和元年 5 月 4 日	126 人
加古川健康フェスタ(加古川)	令和元年 9 月 14 日	119 人
加古川市民スポーツカーニバル(加古川市)	令和元年 11 月 3 日	151 人
加古川ソーデーマーチ(加古川市)	令和元年 11 月 9、10 日	752 人
合計	7 日間	1,819 人

2) 職員の資質向上への取り組み

① 新人研修

新人職員を対象に 4 月に事業概要、就業規則、各種規程、接遇・電話対応、個人情報保護、安全衛生等について研修を実施した。

② 管理職研修

副課長・課長職を対象に、外部講師によるコンプライアンスに関する知識の習得のための管理者研修を実施した。

③ 安全運転研修

職員を対象に年3回（4月・9月・1月）「兵庫県加古川警察署員による講話、DVDによる視聴覚研修」「契約保険会社職員による安全運転に関する講話」、「業務車両事故発生状況の確認及び対策に関する講話」を実施した。

④ 防火防災訓練

職員を対象に年2回（8月・2月）、火災や地震の際に迅速かつ適切な消火活動及び来館者の避難誘導が出来るよう防火防災訓練を実施した。

⑤ 安全衛生研修

全国労働衛生週間に合わせ、職場内における労働衛生教育の一環として、外部講師によるメンタルヘルス研修を10月に実施した。

⑥ 転倒防止研修

職場内における転倒災害が4件発生したため、転倒予防に関する安全衛生教育を実施することとし、職場から転倒災害をなくすための社内研修を2月に実施した。

⑦ 出張研修

健診事業に関する放射線技師、検査技師、保健師、看護師等専門職を対象とした研修79件、検査事業に関する研修17件、情報発信部門3件、介護部門12件、管理部門における公益法人等の研修17件、保健センター全体で128件の出張研修を実施した。

3) 広報紙「へるす」の発行

地域住民の公衆衛生向上のため、また地域住民への情報発信の充実を図る手段として、健康情報や保健センターイベント等の紹介を綴った広報紙「へるす」を、年4回520,000部発行し、加古川市・稲美町・播磨町へ全戸配布を行った。

4) 健康イベントの開催

① 「市民公開講座」

- i) 日時 令和元年11月30日（土）ウェルネージホール
- ii) 講師 加古川中央市民病院 楯谷 三四郎 先生
- iii) 講演テーマ 「もっと知ってほしい糖尿病のこと」
- iv) 内容 講演会と医療専門スタッフによる説明会
- v) 参加者数 講演会：207名、簡単栄養チェック、糖尿病に関する検査機器の展示：58名

② 「ウェルネージかこがわ健康フェア」

- i) 日時 令和2年2月9日（日）ウェルネージかこがわ1階
- ii) 共催 三師会（加古川医師会、播磨歯科医師会、播磨薬剤師会）
- iii) 講師 元ラグビー日本代表 大畑 大介 氏
- iv) 講演テーマ 「為せば成る～ラグビー日本代表躍進の理由～」

- v) 内容 加古川医師会「健康診断と健康寿命について」、播磨歯科医師会「口腔がんについて」等の講演会や「口腔清掃セットの配布」「こども薬局」「お薬相談」「簡単健康チェック」「胸部X線デジタル検診車展示」等を実施した。
- vi) 全体参加人数 1,037名
 保健センター講演会：316名、医師・歯科医師講演会：210名、こども薬局：26名
 お薬相談：31名、口腔清掃セットの配布：100名
 簡単健康・検診車展示：354名（実施総数）

5) 施設見学、視察等について

年間を通じ地域内外の各種団体やホームページの「大人の社会見学」等により延べ57名(3団体)の施設見学や視察を受け入れた。

6) 組織の状況

保健センターの職種別の組織体制は下記の通り。

職種別職員等構成内訳

(令和2年3月31日現在)

職種	職員	嘱託職員	臨時職員	合計
医師	0名	4名	0名	4名
保健師	6名	0名	1名	7名
看護師	4名	1名	24名	29名
管理栄養士	2名	0名	4名	6名
診療放射線技師	7名	0名	0名	7名
臨床検査技師	22名	3名	25名	50名
介護支援専門員	2名	0名	14名	16名
事務職等 (健診助手・集配員含む)	32名	11名	99名	142名
合計	75名	19名	167名	261名